

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



# 森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（令和3年2月号）

「お知らせ」令和3年2月1日

立春（2月4日）が間近。まだまだ寒さが続くでしょうが、散歩がてら春の兆しを見つけるのが楽しみです。コロナは少し落ち着いてきた気配 といっても油断は禁物ですね。

さて、これからの活動予定をご案内いたします。

2月14日（日）09:00～10:30 南口電停脇の「みんなの庭」の手入れをいたしましょう。

＜3月の共同活動日は14日（日）、4月は11日（日）を予定しております＞

.....7.....

○トピックス：

—1月13日（日）春先を思わせる温かい日差しを浴びながら、南口電停横「みんなの庭」で軽く汗をかきました（写真左下）。春花の成長ぶりがわかりますか？（中央は最近、右端は作年末）



.....続きは次ページをご覧ください.....

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：[m.nakata1941@gmail.com](mailto:m.nakata1941@gmail.com)

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：[kumont2@yahoo.co.jp](mailto:kumont2@yahoo.co.jp)

ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 ナカタマサシ 代表中田昌志」名義 普通 0709695

芝生広場が望める穏やかな空間 — 土佐女子校友会館にブックカフェ —



校友会館からの眺め。正面は高知県立大学永国寺キャンパス(1月25日撮影)  
以前は周りに木がたくさんあってもっと良かった という住民の声も聞かれました。

1月25日付けの高知新聞が、高知市永国寺町の土佐女子校友会館の1階を借りて昨年12月に開業したブックカフェを紹介していました。高知県立大学の芝生広場が望める穏やかな空間で、オーナーの久保さん(フリーライター)によると、「好きな物に囲まれて、好きなように過ごす。心落ち着ける場を提供したい」とのこと。店内には児童書をはじめ、全集やファッション誌など久保さんや知人が持ち寄った沢山の本が並んでいるそうです。

記事は「行ってみようかな」と思わせてくれる名文ですが、筆者がとりわけ惹かれたのは「芝生広場が望める穏やかな空間」という描写です。

建物は庭など周りのたたずまいもたいへん大事で、「場所」を考えない建築は、お馴染みの建築家隈研吾さんによれば論外です。「本から顔を上げて窓の外を眺めたら、マンションのベランダで洗濯物を干す人と目が合った・・・」なんぞはほっこりせんですね。

一口メモ：

広場の脇に「高知城下町名今昔—旧北与力町」という立札があります(右上の写真)。これによると、「家老桐間家の与力をはじめとして、多くの与力が住んでいたことに由来する町名。与力は家老付きの武士で、別名騎馬とも呼ばれ、用人や中間などを指図して役務や庶務の一切を取りしきり、御留守居組と同格であった。町の東端には、武士に召し使われる御小人の住居もあった。他に本与力町、南与力町があった。」よしです。